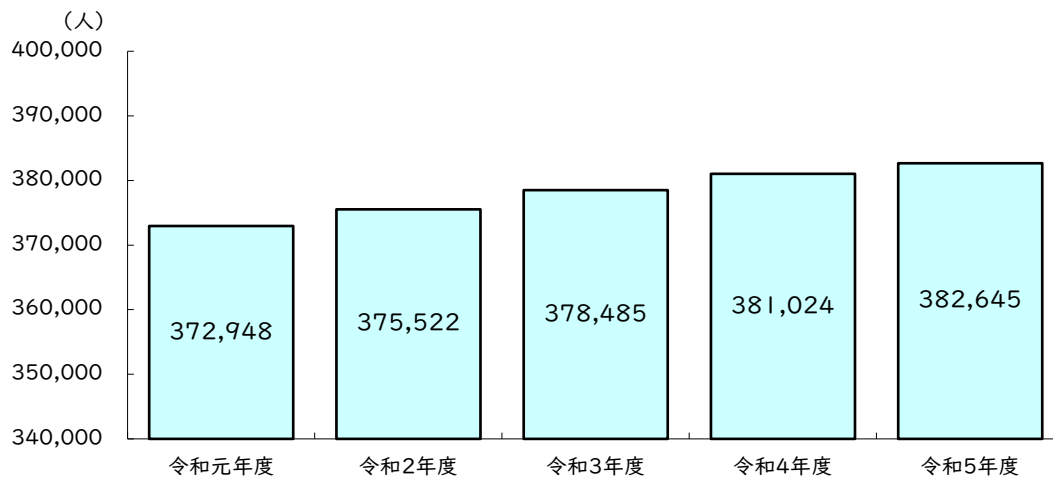


吹田市こども計画の策定にあたっての現状分析・課題検討

1 人口等の状況

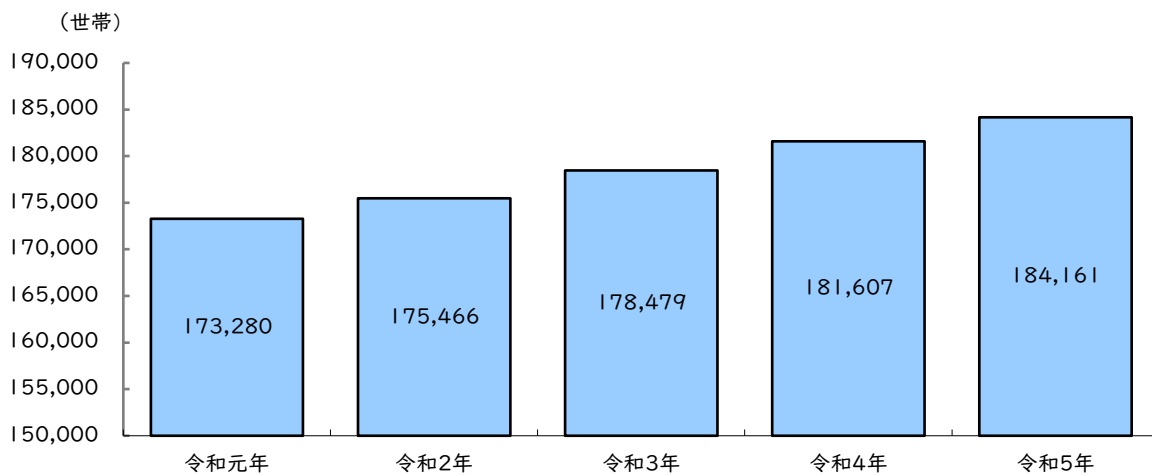
(1) 人口等

ア 人口の推移(各年10月1日現在)



吹田市の人口は、令和元年度以降増加し続けており、令和5年度には382,645人となりました。

イ 世帯数の推移

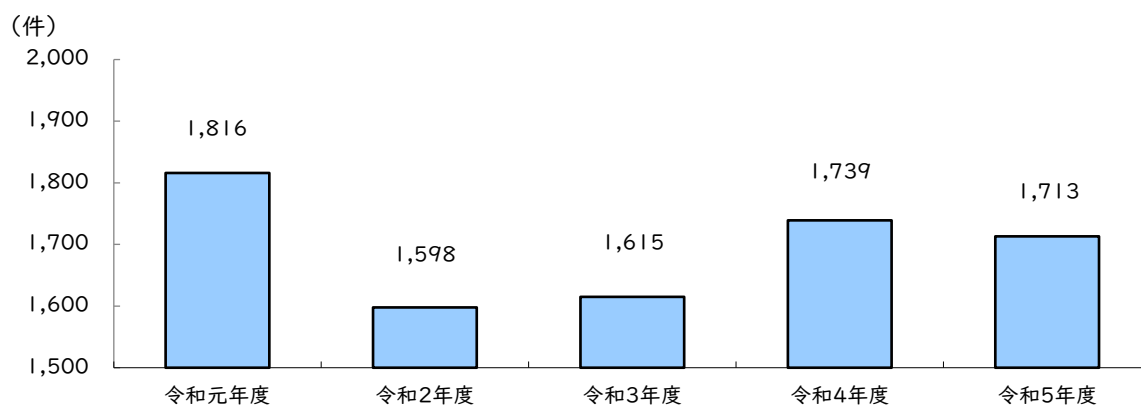


吹田市の世帯数は、令和元年度以降増加し続けており、令和5年度には184,161世帯でした。

子供(18歳未満)のいる世帯数は、平成27年度は37,554世帯、令和2年度は37,488世帯でした。

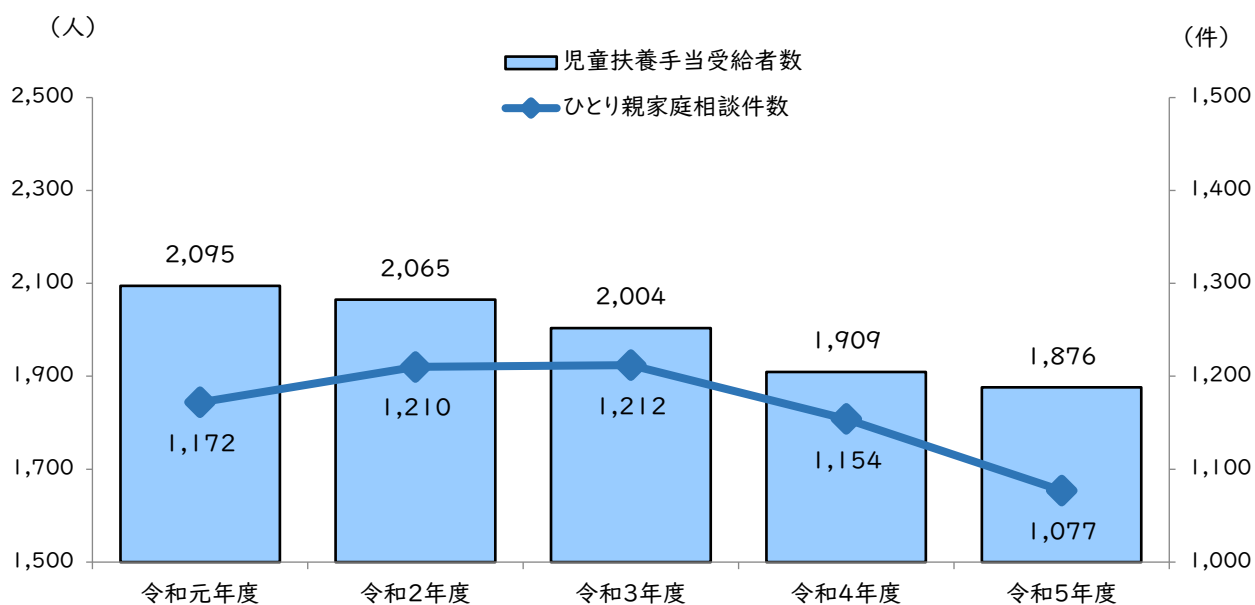
(国勢調査)

ウ 婚姻数(届出受理件数のみ)



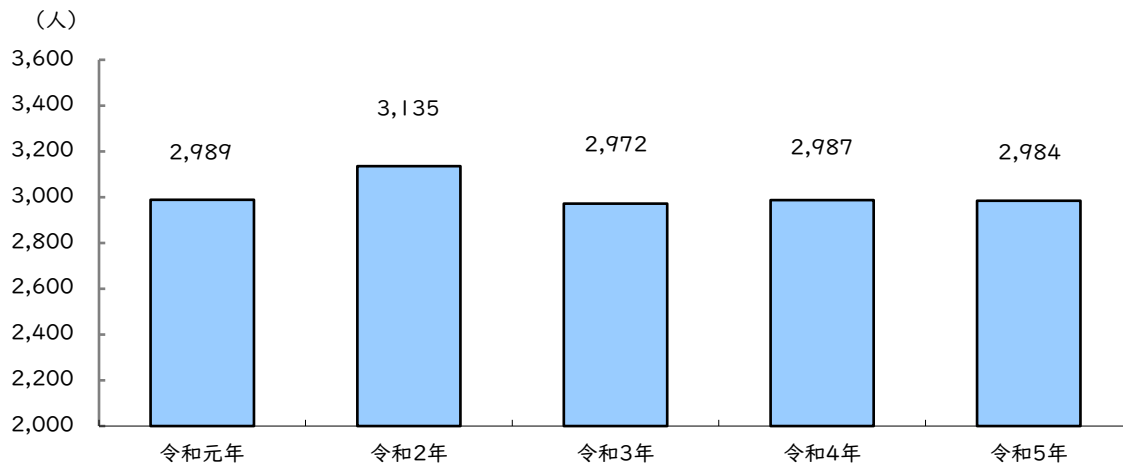
令和2年度及び令和3年度は1,600件前後となりましたが、令和4年度以降は1,700件台でした。令和5年度は1,713件と前年度より26件減少しました。

(2) ひとり親家庭の状況



児童扶養手当受給者数は、令和2年度より減少し続け、令和6年度は1,876人となりました。ひとり親家庭相談件数は、令和3年度で増加しましたが、令和4年度からは減少し、令和5年度では1,077件となりました。

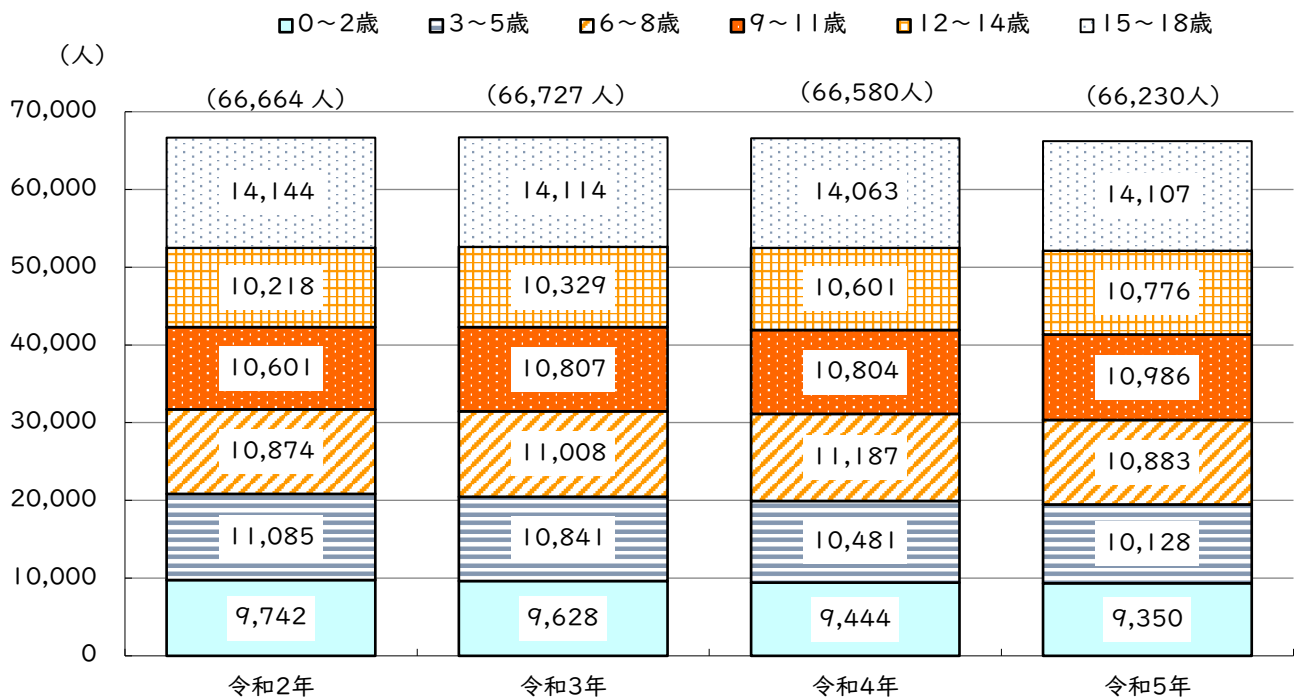
(3) 出生数



令和3年度以降は横ばいの傾向が見られます。令和5年度は前年度より3人減少しました。

(3) 子供の数等

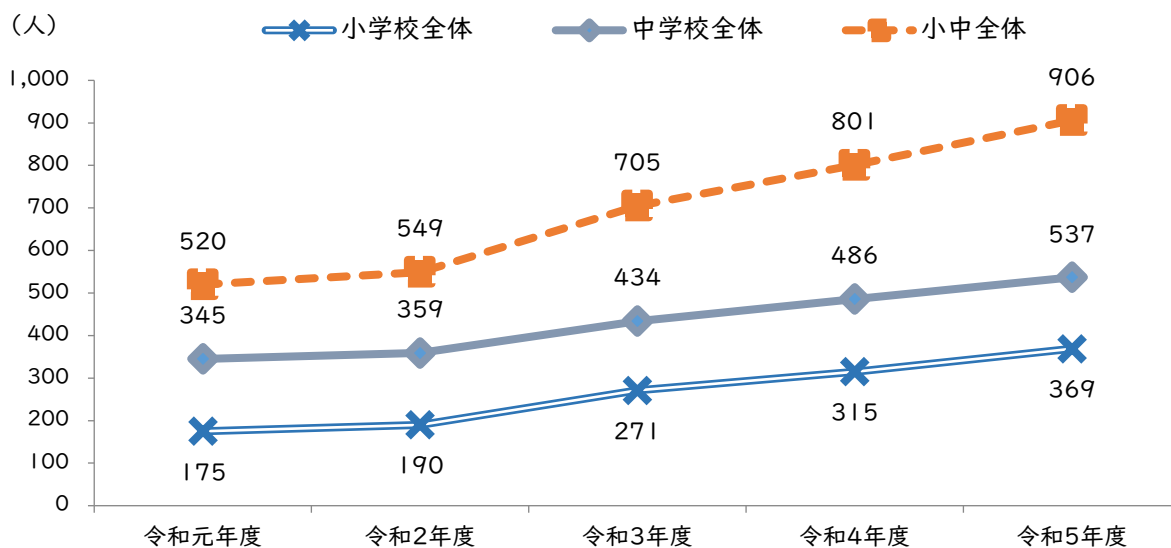
ア 子供の数



令和5年度は令和4年度を350人下回り66,230人となりました。

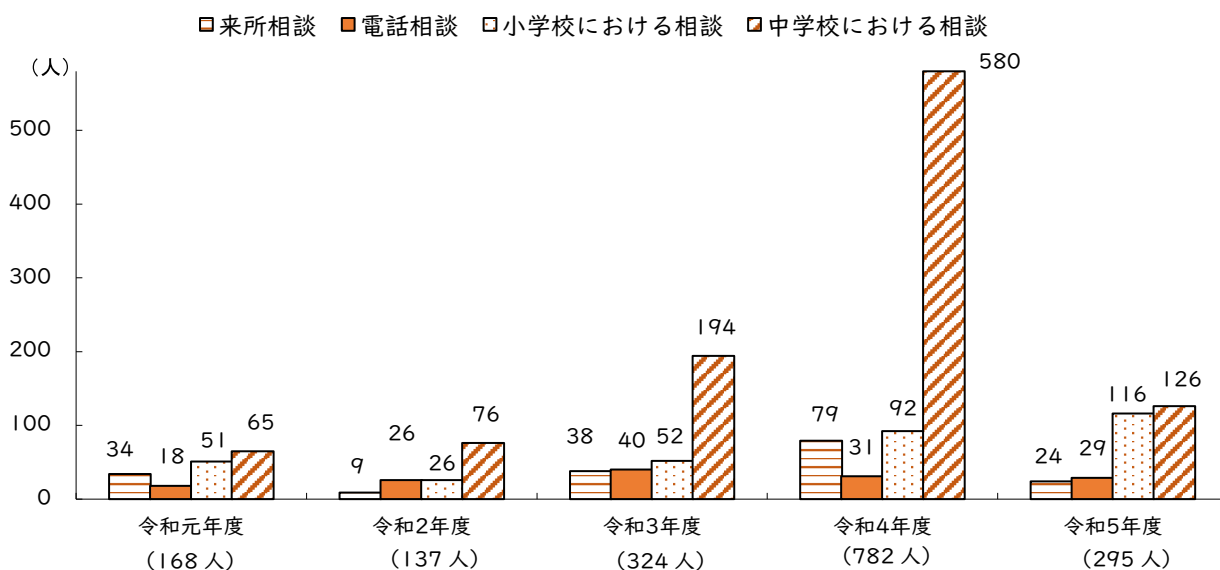
年齢別では、0~2歳と3~5歳がいずれも減少傾向ですが、12~14歳は増加傾向です。

イ 不登校児童・生徒数の推移



不登校児童数は、小学校・中学校ともに増加し続けています。

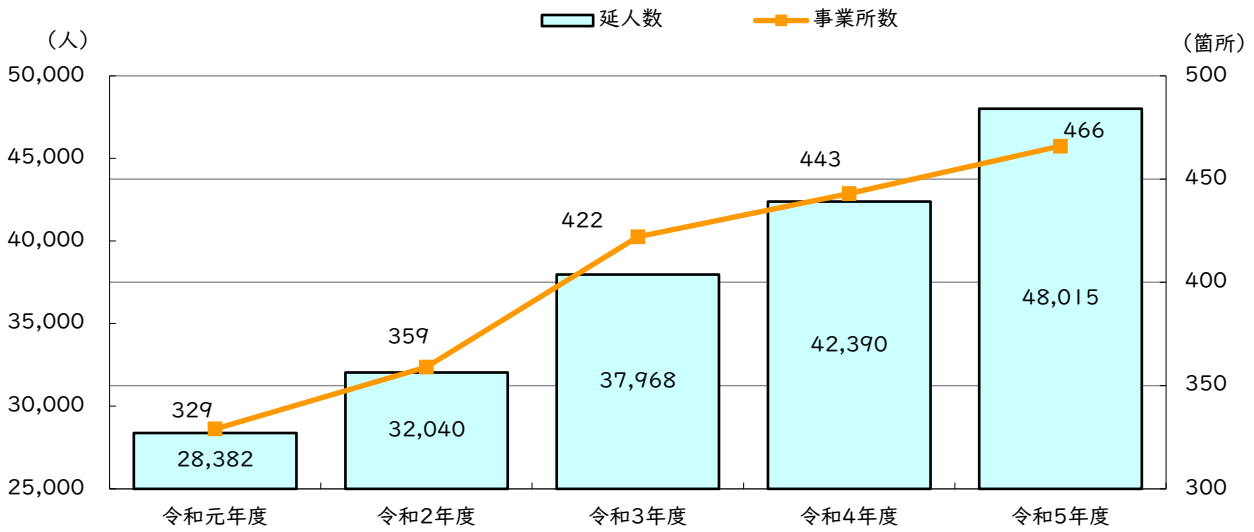
ウ いじめの相談件数の推移



いじめ問題に関する相談は、令和5年度は、前年度より487人減少しました。

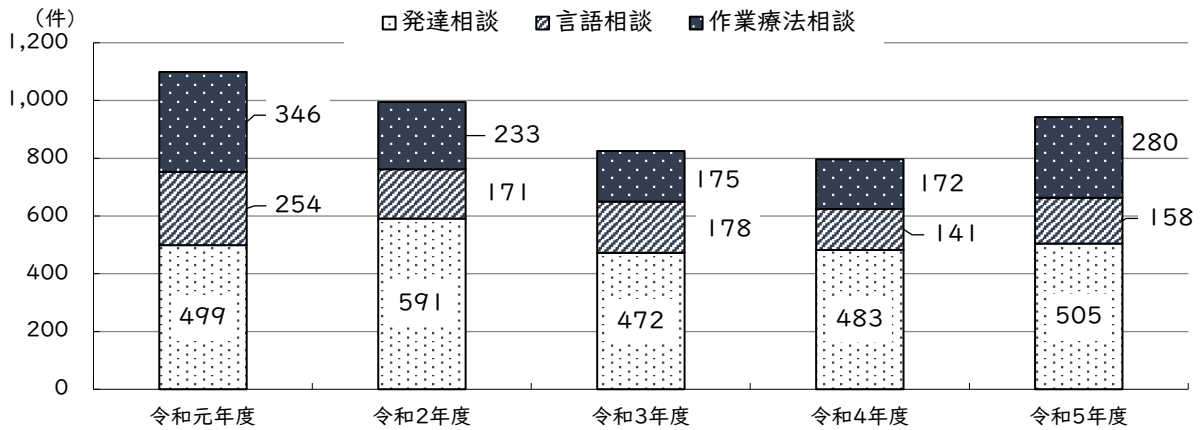
※本グラフは、いじめの件数ではなく、相談した人数をカウントしています。令和4年度は多くの人数で複数回教員が会議を持った事案があったため、中学校における相談件数が突出しています。

エ 障がい児通所支援の利用状況及び事業所数（市内及び市外）



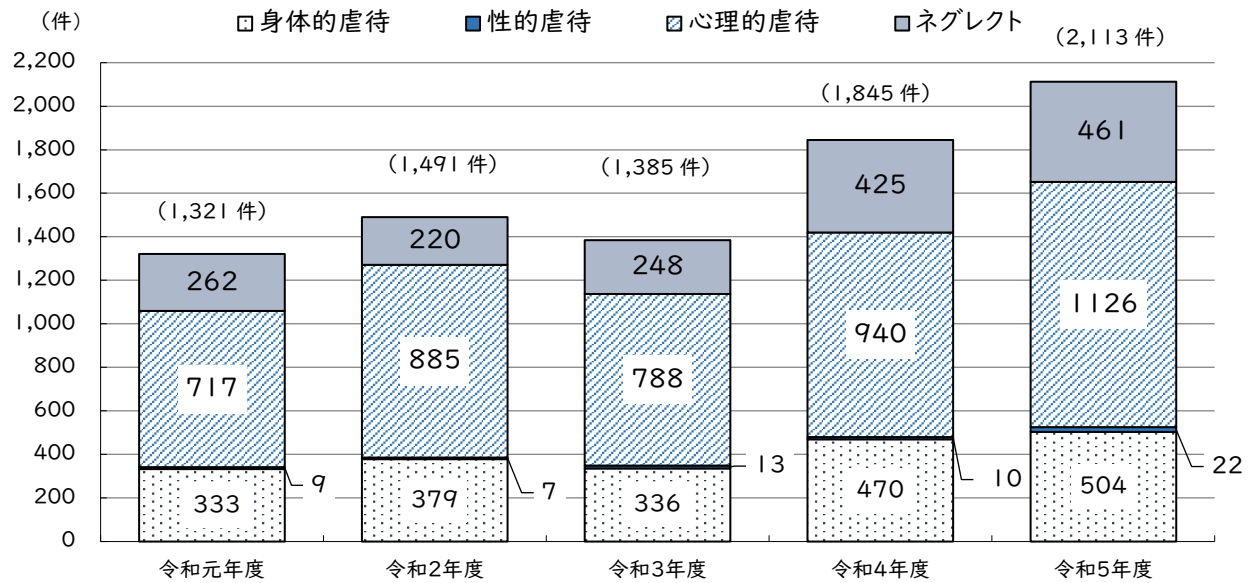
障がい児通所支援の延利用人数は、年々増加し、令和5年度は48,015人でした。
事業所数も年々増加し、令和5年度は市内及び市外を合わせて466か所でした。

オ 発達等各種相談数の推移



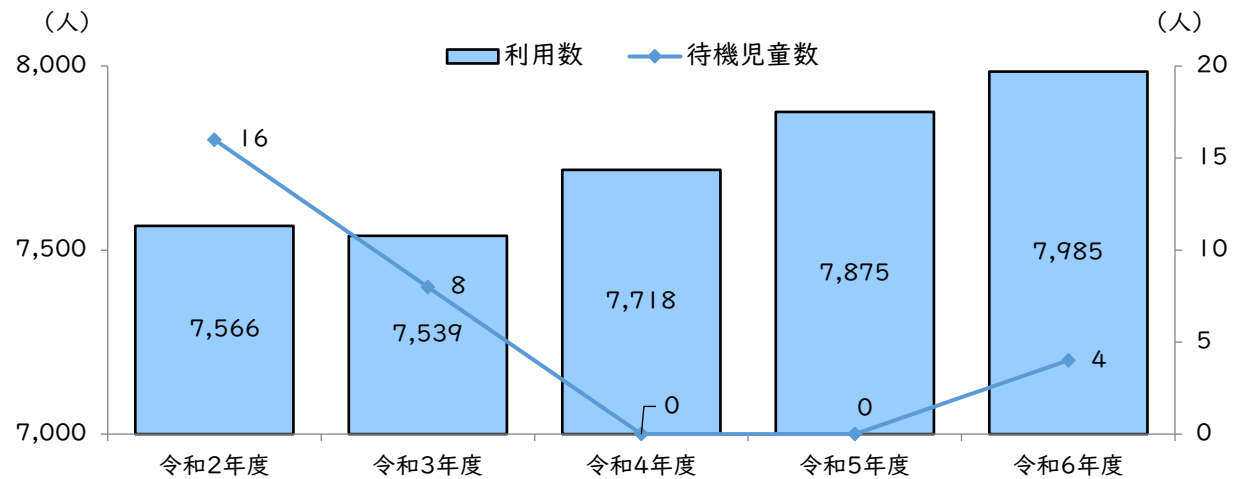
令和5年度は発達相談、言語相談、作業療法相談のいずれも前年度を上回りました。

カ 児童虐待対応件数の推移(延件数)



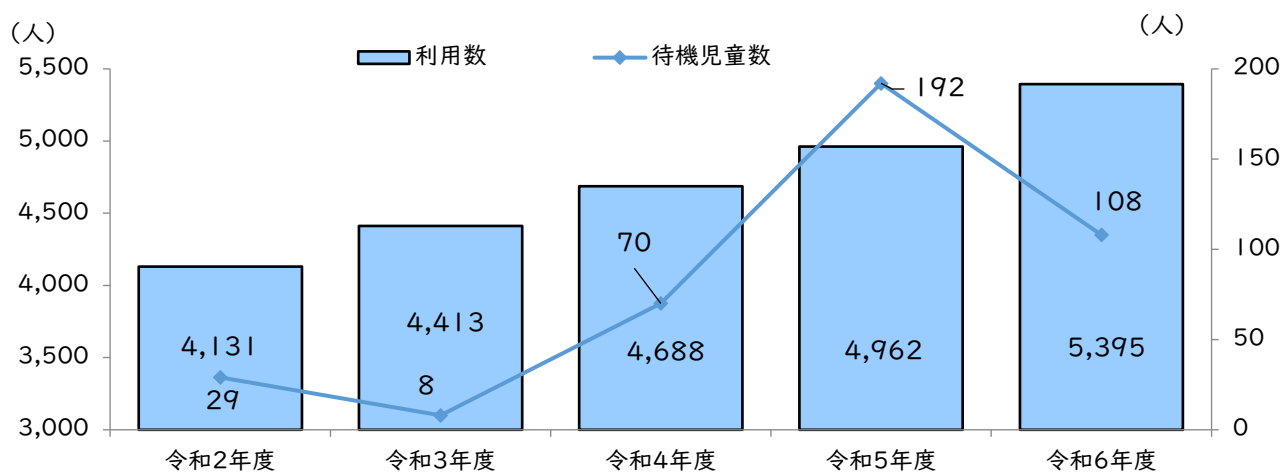
令和3年度は1,385件でしたが、その後は増加してきています。
 種類別では、令和5年度では心理的虐待が1,126件と一番多くなっています。

キ 保育所等の利用数及び待機児童数の推移



保育所等の利用数は、令和4年度から増加傾向です。
 待機児童数は令和4年度及び令和5年度では0人でしたが、令和6年度は4人でした。

ク 留守家庭児童育成室の利用数及び待機児童数の推移



留守家庭児童育成室の利用数は、令和2年度から令和6年度にかけて増加し続けています。
待機児童数は、令和6年度では前年度と比べて84人減少し、108人でした。

吹田市こども計画の策定にあたっての現状分析、課題の検討（ニーズ調査業務報告書より）

	項目	内容	報告書該当ページ	現状・分析
1	教育・保育ニーズ	保護者の就労形態	14	「フルタイムで働いている」と回答した母親及び父親の割合が増加している。 ⇒保育ニーズが高まっている。
2	教育・保育ニーズ	就労意向（現在働いていない保護者）	24	「1年より先、一番下の子供が、〇歳になったら働きたい」と回答した母親の割合が最も高く、前回調査から大幅に増加している。 ⇒就労意向の高まりに伴い、潜在的な保育ニーズが高まっている。
3	教育・保育ニーズ	平日に保育園や幼稚園、認定こども園などを利用していない理由	30	前回調査と比較して「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」と回答した割合が増加している。 ⇒保育等が必要な保護者は増加しているが、利用できない保護者が増加している。
4	教育・保育ニーズ	平日に「定期的に」利用させたい子供を預かる施設やサービス	45	前回と比較して、「認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園で定員20人以上のもの）」、「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）」と回答した割合が増加している。 ⇒認可保育所、認定こども園の利用意向が増加している。
5	仕事と子育ての両立	育児休業の取得状況	50	「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した保護者は前回調査と比較して増加しているが、父親の取得状況は母親の2分の1以下になっている。 ⇒父親の育児休業の取得は広がりつつあるが、育児の負担は母親に偏っている。
6	仕事と子育ての両立	仕事と子育てを良質させる上での課題	65	「子供や自分が病気やけがをしたときに代わりに子供をみてる人がいないこと」と回答した割合が増加している。 ⇒子供や保護者が病気になった際に対応できない状況となり、仕事と子育ての両立が難しくなっている。
7	小学校就学後の放課後の過ごし方	留守家庭児童育成室に対する希望	83、84	「利用時間を延長する」、「施設や設備を改善する」、「6年生まで利用したい」と回答した割合が高くなっている。 ⇒前回調査と概ね同様の傾向であり、引き続き多様なニーズがある。

	項目	内容	報告書該当ページ	現状・分析
8	不規則な一時預かりなどの利用について	不規則な仕事などの理由で子供を預かるサービスを不規則に利用することの有無	92	「利用していない」、「預けるようなことはなかった」と回答した割合が高い。 ⇒不規則な仕事などで、不規則に一時預かりを利用する割合は減少している。
9	地域子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望	利用したい子育て支援事業のサービス	105	「常設の子育て親子の交流の場・遊び場の提供」、「子育てに関する相談・援助」の順に回答割合が高い。 ⇒親子同士の交流機会及び子育てに関する相談支援の充実に対するニーズが高い。
10	地域子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望	児童館等の認知度・利用度・利用希望	110	前回調査と比較して、児童館を「知っている」、「利用したことがある」、「今後利用したい」と回答した割合が高くなっている。 ⇒児童館の認知度、利用度が高まるとともに、利用希望が大幅に増加している。
11	地域子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望	子育ての総合相談窓口（子育て政策室、のびのび子育てプラザ、保育幼稚園室など）についての認知度・利用度・利用希望	111	前回調査と比較して「知っている」、「利用したことがある」、「今後利用したい」と回答した割合が増加している。 ⇒相談窓口の認知度、利用度が高まるとともに、子育てに対する相談支援の充実に対するニーズが高い。
12	地域子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望	吹田市ホームページ「子育て応援サイトすくすく」についての認知度・利用度・利用希望	113	前回調査と比較して「知っている」、「利用したことがある」、「今後利用したい」と回答した割合が増加している。 ⇒子育て支援に係る情報提供を求める保護者が増加しており、利用ニーズが高い。
13	地域子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望	保健師・助産師による訪問について認知度・利用度・利用希望	115	前回調査と比較して「知っている」、「利用したことがある」、「今後利用したい」と回答した割合が増加している。 ⇒保健師・助産師による訪問支援に対する認知が進むとともに利用度、利用ニーズも増加している。
14	子育て支援サービスの利用希望	充実してほしいと思う子育て支援事業	120・121	「育児休業給付、児童手当の拡充扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」と回答した割合が最も高い。 ⇒子育てにおける経済的な支援を求める保護者が増加している。
15	地域の子育て環境	地域活動への参加	131	前回調査と比較して「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が大幅に減少している。 ⇒子育て世帯と地域とのつながりが希薄化している。
16	地域の子育て環境	外出するときに困ること、困ったこと	134	「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」と回答した割合が大幅に増加している。 ⇒交通面での安全を懸念する保護者が増加している。

	項目	内容	報告書該当 ページ	現状・分析
17	地域の子育て環境	子供の遊び場について 日ごろ感じること	137	前回調査と比較して「雨の日に遊べる場所がない」と回答した割合が増加している。 ⇒雨の日でも遊べる場所の確保に関するニーズが高い。
18	子育てに対する意識や 思い	有効と感じる子育ての 支援・対策、子育ての つらさを解消するため に必要な支援・対策	141・144	就学前児童がいる世帯においては、前回調査では「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」と回答した割合が最も高かったが、今回調査では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」と回答した割合が最も高い。 ⇒働きながら子育てができる環境づくりに対するニーズが高まっている。
19	子育てに対する意識や 思い	子育てに関して子供の ことで、日常悩んでい ること、気になること	146	「子供の教育に関すること」と回答した割合が最も高い。 ⇒子供の教育について関心が高い保護者が多く、悩みを抱える保護者も多い状況である。
20	子育て支援事業に関す る市への要望	子育て負担軽減のため の支援やサービスの要 望	154～157	「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」、「塾など習い事への経済的支援」と回答した割合が高い。 ⇒子育てにおける経済的な支援を求める保護者が多い。